



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月8日

上場会社名 サンリン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7486 URL <http://www.sanrinkk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩原 規男
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部経理部長 (氏名) 小澤 信秀 TEL 0263-97-3030
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	10,726	4.0	148	△37.9	252	△26.2	269	8.7
29年3月期第2四半期	10,316	△13.7	238	△37.5	342	△23.2	247	△12.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 432百万円 (49.2%) 29年3月期第2四半期 289百万円 (114.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	21.93	—
29年3月期第2四半期	20.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	23,451	16,297	69.4	1,324.61
29年3月期	23,506	16,088	68.3	1,307.38

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 16,269百万円 29年3月期 16,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	18.00	18.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	1.6	910	0.3	1,120	△0.6	690	0.4	56.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	12,300,000株	29年3月期	12,300,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	17,155株	29年3月期	16,424株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	12,283,526株	29年3月期2Q	12,283,576株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に対する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出が回復基調にあり生産活動が回復しております。これに伴い、雇用情勢や雇用者所得は回復傾向にあり、個人消費も堅調な消費者マインドを背景に底堅く推移しており、エネルギー価格の緩やかな上昇、地政学的リスク等による消費者マインドへの懸念はあるものの、景気は緩やかに回復しております。

このような状況のもと、当社グループは、「エネルギーのベストミックス」をモットーに、L Pガス・石油類・電力小売・太陽光発電・リフォーム・保険等、地域密着型生活関連総合商社として、お客様のニーズにお応えする総合的な提案営業を積極的に展開してまいりました。特に電力小売事業につきましては、昨年4月からの電力小売の全面自由化に伴い、小売電気事業者として「サンリンでんき」の名称で電力の販売を強力に推進し、L Pガスとのセット販売を含めお客様への幅広い提案に努めております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、空調用のL Pガス・石油類の販売数量の増加、電力小売新規契約件数の増加等により、売上高は、10,726百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

利益面につきましては、石油類及びL Pガスの仕入価格の変動による棚卸影響から売上原価が増大したこと等により、営業利益は148百万円（前年同四半期比37.9%減）、経常利益は252百万円（前年同四半期比26.2%減）となりました。また、子会社統合による税金費用減少等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は269百万円（前年同四半期比8.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比55百万円減少し、23,451百万円となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金の減少789百万円、現金及び預金の増加465百万円、投資有価証券の増加213百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末比264百万円減少し、7,153百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の増加11百万円、未払法人税の減少164百万円、賞与引当金の減少72百万円等によるものであります。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、前連結会計年度末比209百万円増加し、16,297百万円となりました。この結果、自己資本比率は69.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当社の取扱い商品の性質上、季節的変動が大きな石油類及びL Pガス等のエネルギー関連事業の第3四半期及び第4四半期に占めるウェイトが高く、為替や原油価格の動向、燃料類の仕入価格や気候の変動等、当社グループの売上高及び利益面における価格並びに数量に対し不確定な要素を含むため、現時点では平成29年5月9日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,527	5,993
受取手形及び売掛金	3,157	2,368
商品及び製品	1,200	1,285
仕掛品	5	45
原材料及び貯蔵品	336	392
繰延税金資産	146	152
その他	84	62
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	10,455	10,297
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,855	8,857
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,514	△6,599
建物及び構築物(純額)	2,341	2,258
機械装置及び運搬具	4,438	4,426
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,825	△3,803
機械装置及び運搬具(純額)	612	623
工具、器具及び備品	3,133	3,130
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,501	△2,535
工具、器具及び備品(純額)	632	594
土地	5,080	5,085
建設仮勘定	4	9
有形固定資産合計	8,671	8,571
無形固定資産		
その他	132	133
無形固定資産合計	132	133
投資その他の資産		
投資有価証券	3,841	4,055
繰延税金資産	73	72
差入保証金	182	163
その他	352	359
貸倒引当金	△203	△201
投資その他の資産合計	4,247	4,448
固定資産合計	13,051	13,153
資産合計	23,506	23,451

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,984	1,995
短期借入金	2,896	2,878
1年内返済予定の長期借入金	161	129
未払法人税等	176	12
賞与引当金	230	158
その他	500	521
流動負債合計	5,949	5,695
固定負債		
長期借入金	177	115
繰延税金負債	132	189
役員退職慰労引当金	176	184
退職給付に係る負債	686	671
資産除去債務	93	93
その他	201	202
固定負債合計	1,468	1,457
負債合計	7,418	7,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,512	1,512
資本剰余金	1,245	1,245
利益剰余金	12,877	12,925
自己株式	△8	△8
株主資本合計	15,627	15,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	438	596
退職給付に係る調整累計額	△6	△1
その他の包括利益累計額合計	431	594
非支配株主持分	29	27
純資産合計	16,088	16,297
負債純資産合計	23,506	23,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	10,316	10,726
売上原価	7,190	7,708
売上総利益	3,125	3,017
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△0	0
給料及び手当	880	872
賞与引当金繰入額	127	128
退職給付費用	53	24
役員退職慰労引当金繰入額	20	8
その他の人件費	329	327
減価償却費	223	222
消耗品費	366	419
その他	885	865
販売費及び一般管理費合計	2,887	2,869
営業利益	238	148
営業外収益		
受取利息	2	0
受取配当金	48	49
受取賃貸料	19	20
持分法による投資利益	0	2
その他	47	41
営業外収益合計	117	115
営業外費用		
支払利息	7	6
その他	5	3
営業外費用合計	13	10
経常利益	342	252
特別利益		
固定資産売却益	23	10
資産除去債務戻入額	—	13
特別利益合計	23	24
特別損失		
固定資産除却損	6	1
減損損失	15	—
特別損失合計	21	1
税金等調整前四半期純利益	344	276
法人税等	97	6
四半期純利益	247	269
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	247	269

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)
四半期純利益	247	269
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25	153
退職給付に係る調整額	11	4
持分法適用会社に対する持分相当額	5	4
その他の包括利益合計	42	162
四半期包括利益	289	432
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	290	432
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	344	276
減価償却費	317	311
減損損失	15	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△2
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△117	△72
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△55	8
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△0	△8
受取利息及び受取配当金	△50	△50
支払利息	7	6
持分法による投資損益 (△は益)	△0	△2
固定資産除却損	6	1
固定資産売却損益 (△は益)	△23	△10
売上債権の増減額 (△は増加)	677	789
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△86	△180
差入保証金の増減額 (△は増加)	4	22
仕入債務の増減額 (△は減少)	△225	12
その他	△60	△2
小計	748	1,097
利息及び配当金の受取額	68	67
利息の支払額	△6	△5
法人税等の支払額	△219	△165
営業活動によるキャッシュ・フロー	590	993
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	234	323
有形固定資産の取得による支出	△460	△195
有形固定資産の売却による収入	22	11
無形固定資産の取得による支出	△91	△21
投資有価証券の取得による支出	△44	△2
投資有価証券の償還による収入	100	—
貸付金の回収による収入	5	14
その他	—	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△233	130
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4	△18
長期借入金の返済による支出	△70	△95
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△223	△220
非支配株主への配当金の支払額	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△298	△334
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	57	789
現金及び現金同等物の期首残高	3,851	3,663
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,909	4,452

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,954	175	727	176	10,034	282	10,316
セグメント間の内部 売上高又は振替高	520	—	—	0	521	450	971
計	9,475	175	727	177	10,555	732	11,288
セグメント利益又は 損失(△)	164	28	△6	18	205	△17	188

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	205
「その他」の区分の利益	△17
セグメント間取引消去	57
のれんの償却費	△6
棚卸資産の調整額	△0
四半期連結損益計算書の営業利益	238

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	エネルギー 関連事業	製氷事業	青果事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,764	183	530	52	10,531	194	10,726
セグメント間の内 部売上高又は振替 高	94	—	—	0	94	466	561
計	9,859	183	530	52	10,626	660	11,287
セグメント利益又は 損失(△)	107	33	△3	△9	127	△37	90

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、建設事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	127
「その他」の区分の利益	△37
セグメント間取引消去	57
棚卸資産の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	148

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。